

まちかど
街角アルバム 四季折々

署名記事はまちかど特派員から。皆さんからの情報もお待ちしています。☎秘書広報課 ☎70・5606



綾西で「地域の足」学習会

6月24日、綾西高齢者憩いの家で「菊名おでかナバス学習会」が行われ、36の方が参加しました。横浜市港北区の「菊名おでかナバス」から講師を招き、住民の足となる乗り合いバスなどの先進事例について話がありました。綾西地区以外から参加された方も含め関心が高いようで、運行状況など熱心な様子で質問をしていました。 【高橋 元】



園児と楽しい交流会を行いました

6月28日、綾西高齢者憩いの家で、綾西地区の方々と吉岡保育園の園児との交流会が行われました。12人の年長児を含む35人が参加し、園児たちの元気な声での熱唱や紙芝居など4つの演目を楽しみました。参加者は「楽しかった」と喜んでいて、帰りには、皆さんで握手をしてあいさつしました。 【片岡 廣一】



泣き虫の空が一瞬ほほ笑んだ

6月30日、綾西の住宅街で虹を確認しました。虹が現れたのは18時すぎで、わずか15分だけ見ることができました。梅雨時ということもあり、窓を閉めている家が多かったためか、虹に気が付いている方は少ない様子でしたが、泣き虫の空が一瞬ほほ笑んだように見えました。 【情報提供：甘楽 健太さん】



玄武岩の日時計

7月5日、小園橋近くの目久尻川沿いにある、きれいに整備された場所に、主柱が玄武岩でできた高さ4m程の立派な日時計がありました。日時計は、主柱の先端の影がどこにあるかで時刻が分かるものです。主柱の周りの茶色の敷石は、市の木であるヤマモミジの葉がかたどられており、時刻を表す千支が彫られた石が点在しています。 【馬場 正勝】



老人ホームでの写真展再開

7月6日、市内の老人ホームで旧写真あやせのメンバーが写真を展示していました。今までも、写真あやせによる写真展を行っていましたが、団体解散に伴い終了しようとしていたところ、続けて欲しいとの要望があり、7月から再開されました。入居者には好評で、皆さん写真を眺めて和んでいる様子でした。 【篠塚 常夫】



七夕に願いを込めて

7月6日、中央公民館で代表の福谷千代子さんが主催する、あやせ伝統文化いけ花親子教室が行われ、60人が参加しました。テーマは「七夕に願いを込めていけるお花」で、子どもたちは、天の川、ひこ星、織り姫に見立てたソケイ、ナデシコ、ヒペリカムの3種類の花で七夕をイメージした作品に仕上げました。 【渡貫 トム子】